

平成 29 年度

スポーツ科学コース 高大連携授業

☆スポーツ科学コースの目指す具体像

- ・「アスリートの育成」
- ・「地域との一体化とリーダーの育成」
- ・「体育教員・スポーツ指導者をめざす人材の育成」
- ・「スポーツを科学する」

☆高大連携授業（流通経済大学との連携）の目的

- ・高度な授業を体験し、部活動に生かす
- ・地域のスポーツ指導者としての資質の育成
（コーチング、トレーニング、コンディショニング、メンタルトレーニング、救急法、マネジメント論などを学ぶ）

☆高大連携授業の詳細

	期日	実施学年	所属・役職	講師名	模擬授業タイトル
第1回	11/2（木）	1年・2年	流通経済大学 准教授	ニシキ マコト 西機 真	スポーツマネジメント
第2回	11/10（金）	1年・3年	流通経済大学 教授	アライ ヒロカズ 荒井 宏和	スポーツ情報戦略
第3回	11/16（木）	2年・3年	流通経済大学 特任准教授	フジワラ ヨウスケ 藤原 庸介	オリンピックムーブメント
第4回	11/21（火）	2年・3年	流通経済大学 教授	ウブカタ ケン 生方 謙	スポーツ心理学

第1回 スポーツマネジメント（西機 真先生） 対象：1年5組・2年5組

●「スパルタンレース」に挑戦



ほふく前進でヒモの下を通過



40 kgほどの重りを引く動作



綱登り

●だれもが楽しめる新しいスポーツ「ゆるスポーツ」の提供



大学生による「ゆるスポーツ」の
プレゼンテーション



各班で案を出し合い、小中学生が楽しめる
新しいスポーツを考えました。



班ごとに企画をプレゼンテーションしました。

●卒業生のお話



流通経済大学に進学した、本校卒業生による
お話を聞きました。

【生徒の感想】

・初めてスパルタンレースというスポーツを体験し、まだまだ自分の知らないスポーツが沢山あると思いました。また、自分たちで工夫したり、コミュニケーションをとりながらスポーツすることは大切なことだと改めて気づきました。
(1年男子)

・スポーツとは自分で考え、想像し、それを試行して創造する過程が大切だということを知りました。想像しなくては勝てないという言葉がとても印象的でした。これからの自分の競技で生かしていきたいです。(2年 男子)

・今回、講義の中で手伝いをしてくれた大学生を見ていて、コミュニケーション能力や自己主張の必要性を感じました。スポーツだけでなく、私生活の中でも自分の考えや思いをわかりやすく伝えることは大切なことだと思いました。とても勉強になりました。(2年女子)

第2回 スポーツ情報戦略 (荒井 宏和先生) 対象：1年5組・3年5組



2学年合同で講義を受けます。



スポーツ選手を支えるサポーターについて



お礼の言葉 (3-5 高橋君)

【生徒の感想】

・今回の講義で感じたことは、スポーツの中で「情報」というものは非常に大切なもので、ゲーム勝敗やパフォーマンスのクオリティに大きく影響していることがよく分かりました。また、試合の勝負は試合前の情報収集、分析、信用性の確認など情報の中での信用性の確認が直結し、その情報戦略が勝ったチームが試合で勝つということが理解できました。今後は、試合中だけでなく、試合前から勝つための行動を心がけていきたいです。(3年 男子)

・トップアスリートが世界の頂点を目指すためには、選手の努力だけでなく、コーチ、トレーナーなどたくさんの人のサポートがあり、高いコンディションとモチベーションを維持して試合に望むことができるのだと知りました。今後は私も努力するだけでなく、友人の試合のサポートをしたり、自分のプレーを客観的に分析して、チームの全員で強くなっていくように、働きかけていきたいです。(1年 男子)

第3回 オリンピックムーブメント (藤原 庸介先生) 対象：2年5組・3年5組



藤原先生のオリンピックでの体験談に
生徒も目を輝かせて聞いている。



「スポーツの魅力」「人がスポーツをする意味」を学びました。

【生徒の感想】

・講義の中で興味深かったのは「ユースオリンピック」というジュニアのオリンピックについてです。オリンピックとは違い、混合チームでの競技や他国との交流の場があり、ジュニア世代からそのような試合に出ることで、世界が広がり、色々な言語が学べたり、競技に対する意識や意欲も高まる良いきっかけになると感じました。他にも様々な話を聞き、2020年の東京オリンピックがとても楽しみにになりました。(3年 男子)

・スポーツを通じて、経済、外交、歴史、社会、戦争、テクノロジー、政治など様々な分野を見ることができ、世界との繋がりを感じることができた。「言葉が違ってもスポーツは一緒にできる」ピエールクーベルタンの考えがあり、私たちはスポーツを楽しむことができていると思う。講義では、オリンピックの様々な写真を見たり、体験談を聞くことができ、オリンピックの裏側を少し知ることができた。とても貴重な時間になった。(2年 女子)

第4回 スポーツ心理学 (生方 謙先生) 対象：2年5組・3年5組



心理検査「DIPKA」で自己分析をしました。



どの生徒も最後まで真剣に取り組んでいました。

【生徒の感想】

・今回の講義を受けて、メンタルトレーニングは、実力を発揮することができたり、競技力を向上し、心身の健康や人間的成長を促すことがわかりました。心理的検査のDIPKAを行い、自己分析をして自分自身の弱い部分を知ることができました。心理学は難しいという印象がありましたが、先生の講義はとてもわかりやすく、今後に生かせる内容が多かったので勉強になりました。(3年 女子)

・講義のなかで、「笑顔は人に嫌悪感を与えない、相手の心を開き、仲間を明るくさせ、自分自身もプラス思考になる、自分の心をリラックスさせる」というお話がありました。私自身、緊張しやすい性格で、すぐに顔にでしてしまうので、これから笑顔をつくる練習をして、試合の時に生かしていきたいと思います。(2年 女子)